

参考資料 2

放射線の健康影響に関する Q&A 講演活動内容検討会議

平成 25 年度には、裏磐梯会議および西白河会議（予定）の 2 回を開催した。

①第 1 回 放射線 Q&A 討論会（裏磐梯会議）

テーマ：緊急時における科学者の役割と責任について

日 時：平成 25 年 7 月 21 日（日）午後 2 時～平成 25 年 7 月 22 日（月）正午

会 場：裏磐梯ロイヤルホテル

福島県那麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峰

共 催：京都大学、国立大学協会、ひと・健康・未来研究財団、日本放射線影響学会

出席者：渡邊正己（京都大学・放射線生物研究センター・特任教授）

松本智裕（京都大学・放射線生物研究センター・教授）

島田義也（放射線医学総合研究所・プロジェクトリーダー）

柿沼志津子（放射線医学総合研究所・チームリーダー）

田内広（茨城大学・理学部・生物科学領域・教授）

宇佐美徳子（高エネルギー加速器研究機構・講師）

松本義久（東京工業大学・原子炉工学研究所・准教授）

会議内容：

1. 地方自治体公務員および教員に対する放射線の健康及び環境影響に関する勉強会の実施状況の解析
2. 緊急時における科学者の役割と責任についての検討
3. 震災による放射線災害から日本を復興させるための方策の検討
4. その他

採択した具体的行動案：

1. 地方自治体公務員および教員に対する放射線の健康及び環境影響に関する講義の開催を地方自治体に提案し続ける。⇒南相馬市健康対策委員会への委員の推薦
2. 一般人対象の放射線影響に関する講義「放射線生物学」を開講する。⇒知の広場【放射線生物学】として京都大学放射線生物研究センターで開講済

②第 2 回放射線 Q&A 討論会（西白河会議）（予定）

テーマ：研究者および市民として福島第一原発事故に向き合った経験から

日 時：平成 26 年 2 月 22 日（土）午後 1 時～平成 26 年 2 月 23 日（日）正午

会 場：新甲子温泉「みやま荘」

福島県西白河郡西郷村大字真船字馬立 1

共 催：京都大学、国立大学協会、ひと・健康・未来研究財団、日本放射線影響学会

出席者：渡邊正己（京都大学・放射線生物研究センター・特任教授）

松本智裕（京都大学・放射線生物研究センター・教授）

島田義也（放射線医学総合研究所・プロジェクトリーダー）

柿沼志津子（放射線医学総合研究所・チームリーダー）

田内広（茨城大学・理学部・生物科学領域・教授）

宇佐美徳子（高エネルギー加速器研究機構・講師）

松本義久（東京工業大学・原子炉工学研究所・准教授）

鈴木啓司（長崎大学・准教授）

三谷啓志（東京大学・新領域創成科学研究所・教授）

松本英樹（福井大学・医学部・准教授）

七海仁一（郡山市民）

馬目与市（伊達市民）

会議内容：

- 放射線影響 Q&A 活動内容に関する検討会

【テーマ】

- (1) 原発事故発生で研究者および市民がとった行動について何が問題であったか？
- (2) Q&A 活動を通して何が理解してもらえて何が理解してもらえなかったか？
- (3) 市民はなにを何を求めており、どう行動したのか？
- (4) 情報発信やリスクコミュニケーションはなにが問題であったか？
- (5) 放射線影響に関して福島事故を体験した我々ができることはなにか？

○放射線の健康影響に関する教科書作成についての検討会

- (1) 中学生程度の知識で理解できる放射線影響の解説書の編纂